＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

【活動の主題】　農園を生かした教育活動
～人をつなぎ学びをつなぐ農園活動と収穫感謝祭～

【学校名】　米原市市立米原中学校

１　本校の概要

本校は、地域とともに歩む公立中学校である。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を積極的に推進し、令和６年度にはその取組が評価され、文部科学大臣表彰を受賞した。生徒の主体的な学びを大切にしている。

２　取り組んだ内容

（1）教育ファーム

本校では、校内にある農園を教育活動の核と位置付け、年間指導計画に基づいて教科・特別活動・総合的な学習の時間と関連させながら、系統的・継続的に取り組んでいる。地域の教育力を生かし、栽培計画の立案から土づくり、種まき、日々の管理、収穫、販売、地域への還元までを、地域の方と生徒が協働して行っている。サツマイモ、ジャガイモ、ネギ、青パパイヤ、エダマメなど多様な作物を育てるとともに、第２農園では米作りにも挑戦し、食と農の大切さを体験的に学んでいる。

また、地域ボランティアの協力による専門的な指導を受けることで、学びの質を高めるとともに、自分たちの活動が地域に役立っているという実感を育んでいる。さらに、地域への感謝の気持ちを形にする取組として葉ボタンを栽培し、お世話になった地域の方々へ贈呈している。こうした一連の活動を通して、自己肯定感や自己有用感の育成につなげている。

（2）収穫感謝祭

１１月に実施している収穫感謝祭は、１ 年間の農園活動の集大成として位置付けている行事である。会場は、校内の農園と、農園に面した野外ステージのある特設会場を活用し、開放的な空間の中で実施している。地域の協力を得て、学区内の園児・小学生・中学生・保護者・地域住民が一堂に会し、農園での取組や学習成果の発表を行うとともに、将来の米原のまちづくりについて意見を交わすなど、世代を超えた交流と学び合いの場となっている。

当日は、農園で収穫した作物を活用し、サツマイモはかまどベンチで焼き芋に、ネギは焼きそばなどの料理にして、参加者みんなで分かち合って食べている。特に、かまどベンチでじっくり焼き上げた甘い焼き芋は毎年好評で、行事の楽しみの一つとなっている。農園に今年から設置しているピザ窯は本年度の収穫感謝祭では使用していないが、来年度は活用を予定しており、さらなる交流の充実を図る計画である。企画・運営は生徒と学校運営協議会が中心となって進め、地域一体となった温かい行事として実施している。

３　活動の成果

農園活動および収穫感謝祭の取組を通して、生徒の主体性や協働性、責任感が大きく育まれた。栽培から企画運営までを生徒が担うことで、課題解決力や実践力が高まり、仲間と協力してやり遂げる達成感を味わうことができた。また、地域の方々や異世代との交流を通して、感謝の心や郷土への愛着、将来の米原を考える当事者意識が育っている。さらに、学校運営協議会と連携した取組は、学校と地域の信頼関係を一層深めるとともに、自己有用感やウェルビーイングの向上にもつながっている。